



社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 濱田 吉隆

副委員長 真鍋 健彦

委員 清水 清隆

早川 幸宏

今年度、30周年を迎える高松グリーンロータリークラブは、創立以来一貫して、「災害に備えて」「青少年奉仕」「環境」等の社会奉仕事業を実施してきました。30周年事業の一つとして、「命の授業～見知らぬ誰かを救い隊～」を実施します。継続事業として、前年度社会奉仕委員長の伊藤司朗さん、また30周年実行委員会の「命の授業」担当副リーダー 清水清隆さん・早川幸宏さんと協力して実施します。

白血病で苦しむ人たちを少しでも助ける為に、次世代を担う若い方々を対象に、「命の授業」を実施する。その講演会を通じて、骨髄移植経験者の講師から、白血病の現状やその問題点について話してもらい、骨髄バンクや移植医療システムや献血の必要性を知ってもらいたい。質疑応答を通じて、疑問や思い込み・誤解を解消してもらい、若い人たちが安心してドナー登録や献血に参加するきっかけとなる講演会を実施したいと思えます。

骨髄バンク応援団「命の授業～見知らぬ誰かを救い隊～」

実施時期は、2022年9月～11月

「命の授業」を視聴する人たちが、正しい骨髄バンクの知識を持ち、理解した上でドナー登録や献血に参加してくれること。他人を理解する機会となること。自分も誰かの助けになることが出来ると思える機会になってほしい。そしてそれがいつの日か、見知らぬ誰かを助ける結果となれば、とても良い社会奉仕事業になると期待しています。